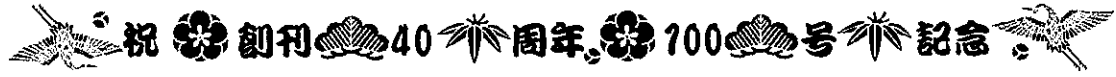


宇品東だより



「宇品東だより」100号のご挨拶



宇品東社会福祉協議会
会長
石井 健一郎

共に生き共に支えるまちづくりには、人と人のつながりが必要であり、「コミュニケーション」の形成こそが町づくりの基盤であって、広報紙がこの役割を担っています。

「宇品東だより」は、この7月発行で、第100号の記念号となります。

「宇品東だより」創刊時までの歴史的背景を見ますと、次のようです。

宇品東小学校開校が、昭和30年4月で、昭和32年4月宇品東社協が創設され、活動開始。会長は香川軍士氏。

昭和40年4月、服部清会長が就任。昭和41年9月、第1回町民大運動会がスタート。昭和47年9月、宇品東会館が落成。開館。その翌年の昭和48年7月に広報紙「宇品東だより」の創刊号が発行されました。

あれから40年間、ときには、年2回や3回発行、今は年4回の発行です。より皆さんに密着した情報の伝達に努力しています。

「宇品東だより」の持っている機能を十分に発揮し、社協の掲げる「福祉のまちづくり」に大きく寄与するものと確信しています。

終わりに、広報関係者の皆さんのご尽力に対し敬意と感謝を申し上げます。これからも、宇品東社協は、各団体と情報を共有し、「福祉のまちづくり」活動に取り組んでいきます。

「宇品東だより」第100号を祝して



広島県議会議員
中原 好治

この度は、広報紙「宇品東だより」発行100号、誠におめでとくございます。昭和48年7月の創刊号以来、地域の発展と社会福祉の向上を願いながら、継続して発行してこられたことに心から敬意を表するとともに、今後の発展を祈念しております。

地域行事の度に、現在の山本敬一郎部長がカメラを抱えて写真を撮られている姿に、いつも頭の下がる思いでしたが、それをさらに活字化して配布するという活動は、大変なエネルギーが必要だと思えます。

私自身は小学校時代を宇品海岸三丁目の公務員宿舎で暮らした経験がありますので、宇品東学区への思い入れは、その当時の町並みやお世話になった方々の思い出と共に、強く深く感じています。

こうした郷土愛、連帯感といったものが地域には必要で、さまざまな行事や活動を通じて、こうした風土や精神が培われていくものと信じています。特にこれからの時代は、核家族化や少子高齢化が進み、地域の絆の重要性が高まっていますので、政策的にも地域活動を強化していくことが求められています。

そんな中、広報紙の発行という事業は、その重要性がますます高まってまいります。発行100号の歴史を生かして、今後さらに発展されることを祈念いたします。

「宇品東だより」の100号記念紙発行に当たり、一言お祝いを申し上げます。



広島市議会議員
元田 賢治

まず、広報紙発行に携わってこられた皆様方のご苦労に対し、深く敬意を表します。

ご承知のとおり、「宇品東だより」は、昭和48年7月の創刊以来、社会福祉協議会や連合町内会など各種地域団体の活動はもとより、その時々地域の身近な話題も掲載されるなど、文字どおり、宇品東地区の広報紙として愛され、地域のまちづくりの多大な役割を果たされてきたと思えます。

私も、この広報紙により、皆様方が地域活動や行事に積極的に参加されている様子を拝見する度に、人と人の繋がりの大切さ、この地域の素晴らしさを痛感する次第です。利便性だけが優先されるIT時代といわれる現代社会にあっても、決して忘れてはならないのが人と人の交流ではないでしょうか。いわば「手作り文化」だと思いますが、「宇品東だより」には、それがきちんと継承され、私たちに人と人のつながりの大切さ、地域の温かさを示唆する私たちの大切な財産ではないかと思えます。

200号、300号と積み重ねられ、それとともに地域の活性化が一層推進されることを心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

「宇品東だより」第100号の発行を心からお祝い申し上げます。



広島市南区長
住田 雄二

宇品東地区の様々な地域活動をお知らせするため、40年の永きにわたる広報紙の発行を続けられ、地域の方々に親しまれていることは、本当に素晴らしいことです。関係者の皆様のご努力に深い敬意を表します。

南区では、「人と人のつながりを大切に、みんなが支え合うまち」をテーマとして、地域コミュニケーション活動を振興しています。

地域における町内会活動や社会福祉に関する活動などは、住民の連帯意識に加えて、地域の皆様に「自分たちのまちは自分たちでつくり守る」という強い意欲があつて初めて成し得るものです。そのためには、住民の皆様方の共通認識の形成や地域における情報の共有が重要であり、広報活動の充実が不可欠です。

今後も「宇品東だより」をきっかけに、宇品東地区で暮らす皆様方が地域活動に参加し、連帯や友情の輪を広げていくことができるよう、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

これからも宇品東地区、南区、そして広島市を元気にする情報をお届けください。一緒に南区を盛り上げて行きましょう。

「宇品東だより」の読者 337 名に聞きました

「宇品東だより」100号の発行に当たり、本年1月に宇品東地区17町内会の住民を対象としてアンケート調査を行いました。その際関係者各位のご協力に対しお礼を申し上げます。

1 調査期間：平成25年1月～2月

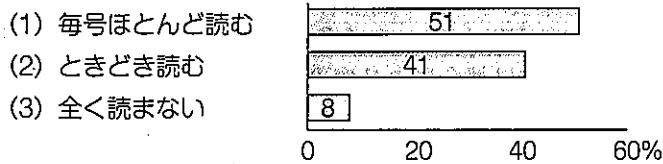
2 回収状況：対象者 337名

回答数 274名 回収率 80.1%

3 アンケート調査結果

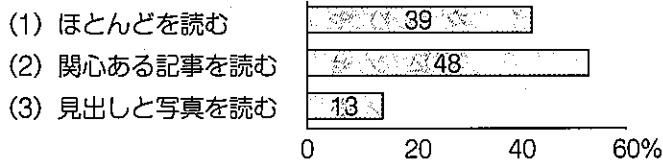
「宇品東だより」をどれくらい読んでおられますか

「毎号ほとんど読む」人は51%で、「ときどき読む」人41%を合わせると90%以上の人が読んでいます。

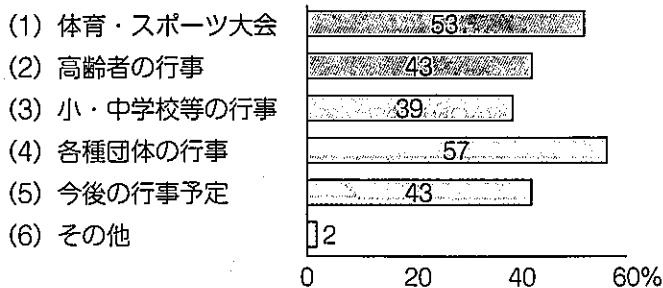


どの程度読んでおられますか

「ほとんどを読む」と「関心ある記事を読む」を合わせると87%の人が記事を読んでいます。



どのような記事に関心がありますか（複数回答）



今後どのような記事に重点を置けば良いとお考えですか

- 各団体の行事予定を日時、場所、参加の有無等記載してもらえれば、見学に行ったり参加したりできる。
- できれば、行事予定のスペースを大きく取って欲しい。
- 安心、安全に暮らすため高齢者自らが心がけなければいけない注意事項、助言など。
- 漫然と記事すべてを並べるのではなく、例えば目玉になる記事を1頁使って特集するのはどうでしょうか。
- 現在の行事報告に加えて、ミニサークル（例えば宇品第一公園で毎日行われている体操、太極拳）の紹介など、気軽に参加できるような会を取材されてはどうでしょうか。
- 介護、認知症、老人介護、育児などの豆ニュースやトピックスといったコラム欄があれば、日常の問題を知識提供できるのではないのでしょうか。
- 小学生、中学生又は子育て中のお母様方の要望なり、喜怒哀楽なり何でも投稿欄があったらどうでしょうか。

「宇品東だより」をより良くするために、どのようにすれば良いでしょうか

- 文字を少し大きくすると読みやすくなると思う。
- 予算的な問題もあると思いますが、カラーにすると読みやすくなるのではないのでしょうか。
- 意見や感想を投稿する欄を設けてはいかがでしょうか。
- 記事の内容が結果報告に終始している。紙面の関係、予算的なものも関係してくると思うが、新たなコーナー（記事）を設けてはどうでしょうか。例えば、地域住民の声を載せ、より身近な「宇品東だより」になれば良いと思います。
- レイアウトが悪いためか面白みがなく、読者の目を引かない。写真も画一化されており、すべて横の写真でメリハリがなく、中には縦の写真も織り交ぜてはどうですか。写真の力は大きいと思います。

紙面の関係で全部をお知らせできませんでした。詳しくお知りになりたい方は、広報部までご連絡ください。

今回のアンケートを元に、新しい紙面づくりを目指します。

「湯楽コース」ご家族・ご友人との楽しいひとときを。

ほの湯では、11時から17時まで個室でのお食事・ご歓談、お風呂（再入浴可・館内着付）と心ゆくまでほの湯を満喫していただける「湯楽コース」をご用意しています。

ぜひ一度ご利用くださいませ。

※お一人様 2,980円：詳しくはお電話で。

※お盆・年末年始などの繁忙期を除く。



【お問い合わせ先】

宇品天然温泉 ほの湯

広島市南区宇品東三丁目4番34号
http://www.honoyu.jp

tel.082-252-1126